

「ホワイト物流」推進運動 自主行動宣言を提出

株式会社FUJIは、国土交通省・経済産業省・農林水産省が推進する「ホワイト物流」推進運動の趣旨に賛同し、持続可能な物流環境の実現に向け、自主行動宣言を2019年11月8日に提出しました。

●「ホワイト物流」推進運動とは

深刻化が続くトラック運転者不足に対応し、国民生活や産業活動に必要な物流を安定的に確保するとともに、経済の成長に寄与することを目的としています。トラック輸送の生産性の向上・物流の効率化を通じ、女性や60代以上の運転者なども働きやすい、より「ホワイト」な労働環境の実現に取り組む運動です。2019年4月、国土交通省・経済産業省・農林水産省が、上場企業及び各都道府県の主要企業約6,300社に対し、参加の呼びかけを開始しました。

FUJIが自主行動宣言の中で表明している取り組みは、取引先を交えた継続的な物流改善提案、トラックの待機時間削減、パレット等の活用促進やリードタイムの延長等の労働環境改善、また当社独自の取り組みとして、自社開発しているスマートロッカーシステム「Quist」を使用し、再配達削減に貢献しています。FUJIは、商慣行や業務プロセスの見直しによる輸送生産性の向上と物流の効率化、事業活動に必要な物流の安定的な確保に取り組み、事業活動を通じてステークホルダーの皆様への責任を果たし、社会から信頼され愛される企業をめざします。

●FUJIの自主行動宣言取り組み項目一覧

取組項目	取組内容
物流の改善提案と協力	・取引先や物流事業者から、荷待ち時間や運転者の手作業での荷卸しの削減、附帯作業の合理化などの提案、要請があった場合は、真摯に協議に応じるとともに、自らも積極的に提案します。
パレット等の活用	・パレット、通箱、インナートレー等を活用、使用促進することにより荷役時間を削減します。インナートレーは無償貸し出しを実施しています。
発荷主からの入出荷情報等の事前提供	・発荷主として貨物を発送する場合に、物流事業者や着荷主の準備時間を確保するため、入出荷情報等を早めに提供します。

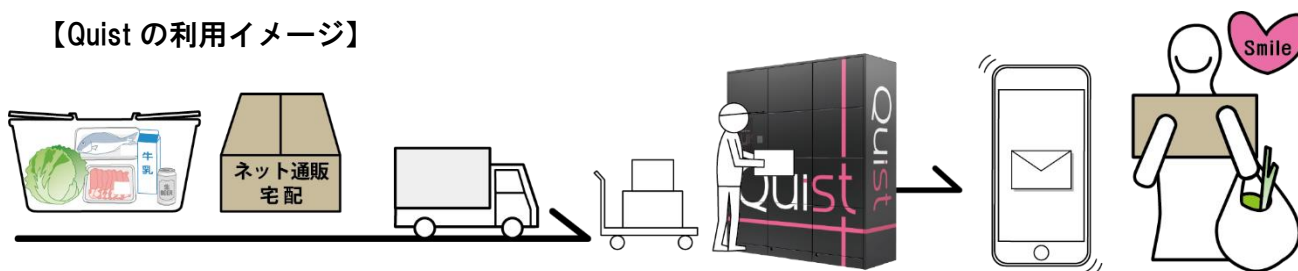
<p>運転以外の作業部分の分離</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・物流事業者から運転業務と運転以外の附帯作業の分離について相談があった場合は、真摯に協議に応じます。
<p>適切なリードタイムの確保</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・トラック運転者が適切に休憩を取りつつ運行することが可能となるように、発荷主としての出荷予定時刻を厳守します。 ・着荷主として幅を持たせた到着時刻を認めることなどにより十分なリードタイムを確保します。また、生産動向、繁忙状況に合わせ、リードタイムを変更します。
<p>物流システムや資機材の標準化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・取引先からの輸送、梱包等、物流に係る提案については真摯に協議しています。
<p>下請取引の適正化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・下請法に準拠する取引を励行しています。
<p>荷役作業時の安全対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・荷役作業を行う場合には、労働災害の発生を防止するため、安全な作業手順の明示、安全通路の確保等の対策を講じるとともに、事故が発生した場合の損害賠償責任の明確化を図ります。 ・梱包荷姿重量として、15キロまでを推奨しています。パレットからはみ出ている部品は通い箱化を進めています。
<p>独自の取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自社開発しているスマートロッカーシステム「Quist」を当社事業所に設置し、従業員の宅配物を勤務先で受け取れる仕組みを構築するとともに、ロッカー本体およびシステムを外販することにより、再配達削減に貢献しています。

●スマートロッカーシステム「Quist」について

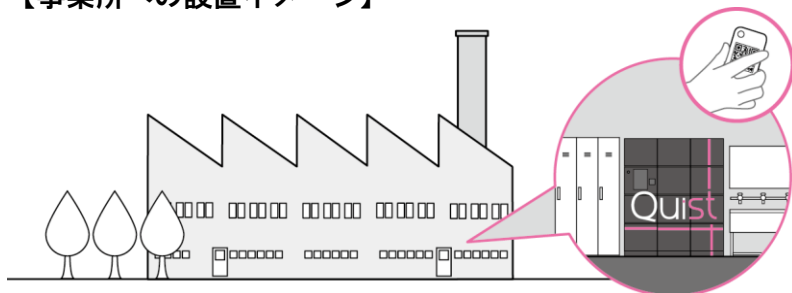
昨今、日本国内だけでなく世界各国において爆発的な広がりを見せる EC 市場。人々の購買行動は、実店舗から EC へと様変わりしています。EC の最終行程は物流業者あるいは宅配業者による各個宅への“配達”ですが、このラストワンマイルを担う環境は、「宅配クライシス」という名でメディアでも盛んに取り上げられるように、厳しい現実には直面しています。

スマートロッカーシステム「Quist」は、物流業界において最大の課題とされる「ラストワンマイル」を解決するツールとして、「マルチキャリア」、「マルチユース」、「ゼロオペ」をコンセプトに掲げ、当社が長年 FA（ファクトリーオートメーション）業界で培ってきた自動化・省人化の技術とノウハウを活かし、事業所、駅、商業施設、医療・介護機関などへの展開を進めています。

【Quist の利用イメージ】



【事業所への設置イメージ】



【商業施設への設置イメージ】



以上

本件に関するお問い合わせ先
株式会社 F U J I
経営管理部 大見
TEL: 0566-81-8205

Quist に関するお問い合わせ先
株式会社 F U J I
ロボットソリューション事業本部 技術開発部 第4課 細井
TEL: 0566-81-8365
Email: ps-support@fuji.co.jp